

# おぼなごわ 市議会だより 78号

平成25年7月15日発行

## 6月定例会

■ 6月定例会	
補正予算・議案の審議	2
■ 一般質問	4
■ 私のひとこと	
請願の審査結果	8

11年目は10,000本のなでしこの花畑を  
8月初旬のイベントにあわせて開花させるため  
6月16日(日)に植栽と刈り込み作業を行いました。



花のかけはし

およそ650人が花植えボランティアに参加  
親子連れを中心に集まっての写真

# 平成25年度一般会計補正予算 総額99億4,316万円

## 「尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会議員定数の削減」や「尾花沢市職員の給与を削減する条例の設定」を可決

方を国に従属させ、そして地方自治を踏みこむものとするが市長のご所見を伺いたい。

**A**本市では、これまで自主的に職員給与を削減してきました。全国市長会でも、こうしたやり方について断固反対の猛反発が起こりました。今後とも地方交付税の算定根拠の見直しも望んでいます。私も、地方自治の自主性をふみにじるこの認識に立つものの、自主財源の乏しい本市は国からの補助を頂かないと成り立たない事情もあり、苦渋の決断で議案の提出に至りました。

**Q**今回の職員給与削減に至る地方交付税の減額はいくらか。また給与削減による歳出削減額はいくらか。さらに、特別職の報酬削減は考えているか。ラスパイルス指数が削減の目安としているが、その他の要因も考えるべきではないか。



第13回花笠 YOSAKOI まつりは、7月27日(土)15時30分より、文化体育施設駐車場で開催されます。県内外のグループによるよさこい踊りや太鼓の演奏、地元出身の奥山えいじさんの歌など、多彩な催しが繰り広げられます。暑い夏の夕べ、YOSAKOIまつりに家族でお出かけしてはいかがでしょうか。



**A**地方交付税の減額は7千800万円、給与削減による人件費影響額は1千900万円になります。特別職の削減は今進行中ですのでさらなる今回の削減はしません。

**Q**こんな大事な議案をなぜ議会最終日に急ぎ提出するのか。議論の余地もない。デフレ脱却を語り、賃金カットを地方に強要するなど地方がよくないはずがない。職員にやる気なくさせる。

**A**県の態度、各市町村の推移などを見極めながら判断し提出しました。

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会の議員定数削減について

**反対討論の主旨**

①議員定数を減らすことは、議会の活性化に繋がらない。議員一人一人の回りには、いろいろな意見や考えが集まる。定数削減は民意を削ることに繋がる。

②両市町の人口や世帯数に大きな差があり、事業組合の経費の負担割合も本市は大石田町の2倍を負担している中で5人・5人の同数では納得が得られない。定数削減の前に事業組合の報酬削減を行うべきである。

### 尾花沢警察署移転新築事業予定地決定!

建設予定地は消防署前の総面積5,808平方メートルを地権者と交渉中です。今年度中に鉄筋コンクリート2階建ての新庁舎(約1,700平方メートル)を設計。平成26年工事発注、平成27年度中に完成予定です。



新築される現警察署

### 銀嶺荘(高齢者コミュニティーセンター)は7月から調査のため休館

湯量の減少による調査が必要になりました。その結果をまって今後の方針を検討するため、7月1日より急きょ休館することになりました。今後、市報、ホームページを通じて利用者にお知らせします。



玄米フレコン出荷機器

**レコン**出荷機器に738万円を補助するものです。**Q**道路の破損で物損事故が発生しているが、補修工事の進捗状況はどうか。**A**4月から補修を開始して6月中に完了の予定です。

**Q**スクールのバスの冬期間は簡易的な待合所が必要ではないか。

**A**バス停付近の地域に働きかけて前向きに検討していきます。**Q**東日本大震災の復興財源として、先に地方交付税を減額し、これに見合う分の自治体職員給与の削減を押し付けるという今回の条例の設定は、地方分権を根底から否定するものであり反対する。今回の国のやり方は要請ではなく強制であり、地

### 議案の審議

平成25年6月定例会が6月12日から19日までの8日間の会期で開催されました。12日には専決処分された7議案と、尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会の議員定数を、それぞれ2議席を削減する組合規約の一部を変更する議案が先議され、いずれも原案通り可決されました。14日と17日の一般質問は8議員が市政全般にわたって市当局の考えを質しました。

19日の議会最終日に、平成25年度一般会計補正予算ほか、8議案と追加議案1案件及び議会案1案件について慎重に審議の結果、いずれも原案通り可決され閉会しました。

### サマーカーニバル のりさんのsummer camp in尾花沢

本市横町出身の「尾花沢ふるさと大使」佐々木則夫監督が、自然豊かなふるさと尾花沢で8月6日～9日の3泊4日で都市と田舎の子供夏合宿を開催します。与えられた非日常の中でスポーツ・レジャーを通じての子ども達のコミュニケーション力と体力向上をめざし、小学校5・6年生たちと交流する予定。その事業費の一部として補正予算30万円を可決しました。



### 夏こそ次の豪雪に備えよ



塩原末知子 議員

**Q**3年続きの豪雪を記録し、3月に県内初の

災害救助法の適用を受けた当市はこの夏こそ次の豪雪に備えるべき。救助法は市民生活にどのように作用したのか。

**A**戦後最大の積雪を記録し、市内各地で屋根

からの転落、落雪などにより18名の方が重軽傷を負い、内1名が亡くなるという痛ましい事故が発生するなど市民生活に大きな影響を及ぼしました。高齢者世帯を中心に除雪ボランティアによる除雪が行われ、共助の輪が広がったところです。災害救助法が適用となり業者による屋根の雪下ろしや除雪が行われ、家屋の倒壊の危険がなくなりましたことから、安心して豪雪期を乗り越えられたと思っています。

**Q**老朽化した銀嶺荘をリニューアルして、銀山温泉の日帰り客用の施設や大正ロマンエネルギーパークの拠点にする考えはないか。

**A**昭和56年の竣工から32年が経過し、修繕しながら運営してきました。銀嶺荘に温泉供給している源泉の湯量減少により、今後調査が予定されていて、7月から当面、施設を休館することになりました。リニューアルについては、温泉の供給状況を見ながら検討します。



銀嶺荘の風呂場

**Q**尾花沢市は、夏期のイベントが多すぎるが花笠YOSAKOIまつりをおぼなざわ花笠まつりと同じ日に開催してはどうか。

**A**花笠YOSAKOIまつりは平成13年に、若者が活躍できる場の創出として考え出されました。当初8月中旬に行われていたが、花笠まつりと日程が近すぎることから開催日を7月下旬に移して現在に至っています。今年度も7月27日土曜日開催すべく準備を進めています。来年度以降は、多すぎる夏期のイベントを考慮し、開催時期、実施主体、内容などについて、検討していきます。

### プレミアム商品券の利用先の割合を設定しては



大類 好彦 議員

**Q**プレミアム商品券を、商店街50%

大型店50%とし、プレミアム分15%は両方使えるようにしてはどうか。

**A**今回は新たにアンケート調査を実施したところです。この結果も踏まえ、お客様の商店街への誘導に向け、地元商店での利用拡大が図られるよう支援していきたいと考えています。

**Q**子宮頸がんワクチン接種における後遺症の説明を。  
**A**本市では、気分が悪

くなったが30分程で回復した報告が一件ありました。今後は、目的・健康被害救済制度などの書類を配布し、県の動向を注視し対応します。

**Q**大石田駅に英語・中国語・韓国語など外国語の観光案内を。  
**A**現在、外国語の表示は整備されています。分かりにくいところは、駅と相談しながら整備していきます。

**Q**コミュニティFM局を設置し災害時に備えよ。  
**A**コミュニティFMは災害情報以外にも地域情報の発信などさまざまな利用価値があると思います。開局にはいくつかクリアしなければ

なりません。復元が可能なものが複数利用できるようにすべきと思うがどうか。



ばならない課題があります。検討していきたいと思っています。

**Q**宝くじ助成金を団体が複数利用できるようにすべきと思うがどうか。

**A**同じ団体でも異なる事業に申請する場合には、この限りではありません。備品の老朽化により更新が必要な案件も想定されますので、見直しについて検討していきます。

### 尾花沢の未来は優れた農業政策にあり



武田 佳久 議員

**Q**厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所の発表によると当市では、2040年には、2010年の人口と比較し約43%減の1万87人になると推計された。地域活力の減退、コミュニティの崩壊、自治体の機能維持不能を招き、本市が抱える種々の社会問題を幾層にも深刻化するものであり、このまま事態を放置すれば、回復不能な社会崩壊に直面する地域になり、致命的な衰退を招くことは、避けられない状況にさらされる。人口問題研究

所の発表を受け、今後本市では、どのような政策を展開していくのか。地域の担い手である若者をどのように導いていくのか。

**A**雇用の確保、産業振興、定住促進、子育て支援などが重要な課題となっています。第6次総合振興計画で掲げる本市の将来像「元気に創造のまち尾花沢」の実現を目指し、重点的に取り組んでいきます。

り組みについて、どのように考えているか。

**A**農業を起点とした6次産業化は、農業者の所得の増大はもとより、農業・農村の活性化が図られ、地域の活性化に繋がるものと考えています。6次産業化においては、計画性や実効性が重要となるため、今後とも、関係機関と連携を図りながら推進するとともに、6次産業化のネットワーク構築を図りたいと考えています。



### 路線バスから乗合タクシーに転換を



青野 隆一 議員

**Q**統合される福原小学校のスクールバスや放課後児童クラブについて地区民の合意形成をどう図り、駐車場の整備はいつ行うのか。

**A**児童の通学は、スクールバス、園児バス、路線バスの5台で送迎を行う計画です。登下校に支障をきたさないよう万全を期していきま

ます。駐車場の整備については、旧寺内保育園跡地を活用して整備できないか検討しているところです。

大きな役割を担っております。保護者などへの説明会を開催し、児童が利用しやすく、安全安心な環境づくりを図っていきます。

**Q**高齢者の足を確保するために、利用率の低い福原地区の路線バスを玄関先まで送迎する乗合タクシーに転換してはどうか。

**A**本市の放射線状に広がる地理的な条件も考慮し、今後、高齢者を対象としたアンケート調査を実施し、本市に適したデマンド型交通の導入について、先進自治体の事例も参考に検討していきます。

**Q**年々頭数が増える尾花沢牛に対して、余剰傾向にある堆肥の処理や資源化をどのように進めていくのか。



7月21日完成予定の寺小プール

**A**水田やすいか・アスパラガスなど畑作への利用を推進しています。今後とも利用拡大に向けた取組みとともに、資源化については、今後とも検討していきます。

**Q**法律で定める「し尿」に関する一年間の発生量及び処理量を、毎年どのように把握し、許可業者に配分するのか。

**A**し尿の年間発生量及び処理量は一般廃棄物処理基本計画と実績を踏まえて見込んでいます。し尿搬入割当は、過去の経過についても考慮しながら、関係機関と協議し、慎重に対応しています。

### 夢を語り 実現できる尾花沢にむけて



小関 英子 議員

**Q**現在行われている定期健診や節目健診に、専門の眼科検査を実施してはどうか。

**A**眼圧検査等の専門検査は、緑内障などの早期発見のため必要だと思います。検診センターや専門医院における受診体制の確保など総合的に検討します。

**Q**「子育て支援医療費助成制度」の医療費無料化が実感できるように改める考えがあるか。

**A**当初から全額公費負担をした場合、子供の医療負担を認識しないまま受診することになり、過度な受診につな

がりがねないため、申請手続きをお願いしています。なお、月1回、夜間に受付の延長を行い対応しており、ご理解をお願いいたします。

**Q**風疹の現在の状況と今後、予防接種に組み込むべきではないか。

**A**風疹の発症状況は、全国では8,507人、県内では11名の発症者数です。

風疹の免疫がない女性が妊娠初期に感染した場合、先天性風疹症候群を持った赤ちゃんの出産が懸念され、予防接種の助成などについて、国・県に支援を要望するとともに、対象者の設定など検討します。

**Q**子どもの貧困の現状と、具体的な対応はなされているか。

**A**離婚によるひとり親家庭が増加し、経済的にも不安定な家庭もあり、各種手当や助成金を支給し、教育相談専門員、家庭児童相談員、母子自立支援員の連携のもと、きめの細かい支援を続けていきます。

**Q**「元気な尾花沢づくり」のため、「女性議会」「子ども議会」を開催してはどうか。

**A**男女共同参画社会を構築するため、平成11年から「女性会議」が平成14年まで開催されました。

市制施行30周年を記念して平成元年に「小学生模擬議会」を開催しています。市民の皆様との対話を重ね、市民の皆様と同じ目線での市政運営に取り組むためにも、女性議会や子ども議会は有意義であり、絵や作文も含め検討していきます。



奥山 格 議員

### 市内の30年後の 人口予測について

**Q**本市の30年後の人口は1万827人で、2010年時点からすると、57.1%という予測です。今後予測のように人口減少が進む場合、市財政や産業など市民生活にどのような影響を及ぼすものとお考えか。

**A**人口推計予想のようにな産年齢世代の半減や高齢化率が拡大した場合、本市のみならず本県全体的にも活力の低下が危惧されます。また、普通交付税への影響が必至であり、財政運営に大きな影響が予想されます。

**Q**各地域で離農される方が増えてきており、担い手のいなくなった農業の衰退が懸念される。後継者不足を解消するような農政の施策が必要と思うがいかがか。

**A**国の人・農地プラン、また、市の単独事業において支援しており、積極的な広報に努めています。

**Q**汚染稲わらを食べた牛の堆肥が一時仮置き場に保管されていた。その後どう処理されたか。

**A**管理型最終処分場で昨年10月に、最終処理を終了しています。

**Q**福原地区統合小学校の駐車場の確保や、老朽化したプールの改修はどうなっているのか。

では、寺内保育園跡地を活用して整備できないか検討しているところです。

プールについては、すでに発注しており夏休み前に完成予定です。

**Q**地域コミュニティ活動の拠点としての公民館の十分な利用が図られるよう、電気料や水道料など、公共料金について補助を検討してはどうか。

**A**現在、集落公民館に対する支援事業としては、集落公民館の建築や改修に要する事業費の助成事業と、耐震診断に要する事業費に対し助成しています。

多額の費用を要する建築や改修と違い、維持管理経費である電気や水道などの公共料金については、現状のとおりでお願いいたします。

### どうまで上げる国保税 一年おきの値上げに反対



石塚みつ子 議員

**Q**所得の低い人ほど滞納が多く、減免が適用になっていても払えない、負担は限界、他市町村でも行っている一般会計より法定外繰り入れで値上げを押さえる考えはないか。

**A**国保財政の基本は、国と県からの交付金と被保険者の保険料により運営されるものです。一般会計からの法定外繰り入れに関しては、他の保険制度に加入されている方々との均衡に配慮し対応を要する課題です。

なお、脆弱な国保財政基盤盤などの構造的な

問題の解決に向け、国の公費拡大など、引き続き市長会などにおいて国に要望します。

**Q**昨年から冬にかけて電機産業の大リストラがあり、県内でも影響があったようだ。当市の現在の失業状況はどうか。

**A**失業実態は、市として常に把握することは困難です。平成22年度の国勢調査では県の完全失業率5.8%に対し、本市は4.9%で低い割合となつていますが、まだまだ不安定な雇用状況にあると認識しています。

**Q**先進地に学び自然エネルギー開発で雇用の場の創出を行う考えはないか。

**A**国道347号線の通年通行も見え、産学官民

連携の新しいエネルギー推進会議の提言や先進地の例を参考としながら、地域資源を有効活用したエネルギー開発について検討し、雇用創出に結び付けていきたいと考えています。

**Q**自治体が発注する工事、業務委託したお金などのように流れているか、働いている末端まで適正に行き渡っているかを行政が関与できる「公契約条例」を定める考えはないか。透明度の高い入札と業界間の信頼が高まるため。

**A**本市では県内統一の積算基準により設計し発注しています。国土交通省から建設業団体、公共工事発注者などに対して、技能労働者への適切な賃金水準を確保するよう要請がなされていることから、企業経営まで市が関与する公契約条例の制定は考えていません。

### 生活用水路の改修工事は



大類 準一 議員

**Q**住民生活にとって広域的・公共的な性格の強い生活用水路について、老朽化に伴う改修工事や災害による復旧工事は、どのように考えているか。

**A**農用地内の導水路の整備は、補助事業などの活用は難しい状況ですが、水利権と同様に流雪溝整備において欠かせない課題です。各種事業の活用も含めて関係機関と十分に協議しながら進めます。

**Q**各地区から要望の多い流雪溝整備について、水利を利用できる箇所からの早期着工を進め

てはどうか。また小規模な流雪溝についても実施計画を策定してはどうか。

**A**現在、水量確保の課題をどうしたら解決できるか、県をはじめ関係機関と協議・検討をしています。条件が整ったところから計画的に整備を進めていきたいと考えています。

**Q**TPPによる尾花沢市農業への影響（特に米と畜産）はどうか。また、今後どのように対処していくのか。

**A**米については、県は県内生産量の三割が外国産と置き換わり57%減少し、本市の場合もつや姫や特別栽培米などの生産割合が低いため、67%減少すると試算しています。畜産については、県では四等級・

五等級は残り、三等級以下の約九割が置き換わり、28%の減少が見込まれます。本市の場合、四等級・五等級の割合が高いため25%ほどの減少と試算しています。経営規模の拡大や法人化など経営基盤の強化を図り、6次産業化をさらに推進していきます。

**Q**高齢者雇用についての法改正などに伴い、若者の雇用をどのように進めていくのか。

**A**企業懇談会では、中学2年生を対象とした企業体験のほか、北村山高校生徒に対する模範面接会の開催や地元就職希望者企業訪問を実施しています。

さらには、市内企業に就職された方を対象とした地元就職者交流会を開催するなど、若者の市内就職に対する各種取り組みを積極的に実施していきます。

# 私のひとつとこと

## ◎楽園農業を実現

農業

中山 芳明さん

定年を契機に農業を始め、今年で3年目になります。雨が降れば休み、暑いときは長い昼休みとマイペースでできるので何とか続いています。毎日、冬に採取した力エデ樹液を沸かして入れるコーヒーも楽しんでいます。ある人曰く、「人生の楽園」してゐるねえ…。

少ないため市場出荷はなしで、地域特産のスイカも作っています。あまり難しくなく、労力やコストのかわらない品目を選び、少量ずつですが年間を通して毎日販売できるように組み合わせています。栽培しているのは、米、山ブドウ、加工トマト、アスパラガス、ネギ、そして春から秋までハウスで葉ダイコンなどです。山ブドウとトマトは果汁100パーセントのジュースに加工します。これらは全て、産直ねまる、徳良湖温泉の花笠産直などで販売しています。山ブドウは研究会を

作り、産地化を目指しています。その取り組みの中で、昨年ワインもできました。初めてなので心配もありましたが、一口飲んだときに、「ワオー！」と声が出るほどの風味のある味でうれしくなりました。

に花を植えました。田の畦畔も除草剤を使わず機械で刈るようになっています。いつの日か、映画「ワイルドオブドリ」のラストシーンのように、みんな尾花沢を目指して集まってくれば最高ですね。

福原ふるさと塾に参加しています。が、住んでいる地域を季節の花に彩られ、美しい田園風景が広がる、楽しく暮らせる楽園にしたいですね。今年はずっと自分ができることから始めようと思ひ、道路に面したところ



## 請願の審査結果

### 採択された請願

丹生第3地区内道路  
拡幅に関する請願  
丹生第3地区  
区長 加藤 一夫

TPPへの参加に反対する請願  
尾花沢市農業を守る会  
会長 菅野 駿

寺内地区流雪溝の水  
源確保に関する請願  
寺内第1地区  
区長 三浦 澄夫  
寺内第2地区  
区長 渡辺 敏良  
寺内第3地区  
区長 渡辺 修悦

## 政務調査に 来庁された議会

◎6月5日

富山県 滑川市議会

2名

・調査内容

流雪溝に係る  
水利権について

# あとがき

二十四節気では、7月7日が小暑、23日が大暑、8月7日は立秋となる。しかし、最近3年続きの豪雪や、6月から9月まで30度以上の真夏日が続くなど、夏と冬だけが長くなっている。四季感が薄らぐと、生活のリズムも変調をきたし何かと気忙しい。さて、毎回時間に追われながらも、先進地研修の成果を積極的に取り入れるな

ど、読みやすい紙面づくりを努めてきた。その成果が少しでも伝わったとすれば幸いである。しかし、単に見やすい紙面を作ることが本当の目的ではない。議会活動がお粗末であれば、お粗末な紙面にしかならない。議会活動が市当局との緊張関係を保ちつつ、より活性化することこそが肝要である。

(青野隆一)

尾花沢市議会  
インターネット中継  
市のホームページから  
アクセスできます  
www.city.obanazawa.yamagata.jp

## 市議会だより編集委員

- ◎大類 好彦
- 塩原未知子
- 菅野 修一
- 武田 佳久
- 星川 睦子
- 青野 隆一
- 小関 英子

◎委員長 ○副委員長

発行/山形県尾花沢市議会

編集/市議会だより編集委員会